

大学入学前課題



日本大学の付属推薦入試合格者や他大学の推薦入試などの合格者に対して、多くの大学や学部が入学前課題を課しています。今回は「入学前課題はどんなものが出されているのか」ということを高3に聞いてみました。その調査結果の一部を以下に掲載しますので、是非参考にしてください。課題内容は学部からのものもあれば学科で指定されるものもあります。また、提出期限や提出方法についても、郵送やインターネットなど学部学科によって異なりますので、十分に気をつけましょう。

遅滞した場合には学部や学科から高校や直接家庭に連絡が来ることがあります。くれぐれも遅れることのないように注意しましょう。

【日本大学の場合】

★経済学部

課題①指定図書(学科共通)を読み、自分の考えをまとめた読書レポートを提出する。課題②文章読解力、英語力の向上を目的として、AI学習教材『atama+』(e-learningで2教科(国語・英語)の指定単元を学習する。

★商学部

英語や商学、経営学、経済学、会計学の基礎的な内容および商学・経済学を学ぶための数学の授業をオンライン形式で受講する。

★理工学部

「必修プログラム」として共通学習課題(英語・数学・物理・化学)の問題を解く。各学科から「選択プログラム」(申し込み任意)も実施される。

★理工学部(物質応用化学科)

化学の講義DVD(各90分12回)とテキストを活用し理解を深め、確認テストを解く。

★生物資源科学部(海洋生物学科)

海の生物の利用、海の生物と環境、海洋・水産一般の3つのグループで指定された書籍から1冊ずつ選び、合計3冊の要約と感想を作成する。1冊ごとにA4サイズ用の紙にて2000文字以上にまとめる。

【他大学の場合】

★東京理科大学

必須課題①問題集(数学)をノートに解き、答え合わせをして提出する。必須課題②各学科の推薦図書を参考に図書を選んで読み、要約と自分の考えをまとめ提出する。(原稿用紙3枚程度)。推奨課題①通信制講座。テキストと映像解説、確認テスト(web)をもとに自宅で学習する通信添削の講座。推奨課題②通学制講座。神楽坂及び野田キャンパスにおいて対面実施する講座。

★関西大学法学部

課題①全体プログラム。e-learningシステムを利用して、英語と国語を学習する。課題②法学部独自プログラム。e-learningシステムを利用して、配信されるミニ動画を視聴し、感想文を提出する。また、法学部独自の学習課題もある。

★法政大学理工学部

入学前準備講座webページより、日本語・数学・理科の事前テスト(各30分)と演習課題(各12回)が配信され、学習がすべて終わると修了テストが実施される。

★学習院大学文学部

①配付される英文法の問題集を解いて自己添削し、学習成果が書き込まれた問題集を提出する。②推薦図書リストから最低7冊を選んで、それぞれについて読書感想文を書いて提出する。

大学によって、入学前課題が指示されるタイミングに違いがあるようです。12月の段階で入学前課題を送っている大学もあれば、1月下旬に学習課題が届く大学もありました。どのタイミングであっても、計画的に進めていきたいですね。

「評定平均値」を理解しよう!

皆さんは「評定平均値」という言葉を知っていますか?成績や進路の話をしているとよく耳にする言葉ですが、「評定」という言葉もありますね。今回は、そもそも「評定」という言葉や「評定平均値」の意味について正しく理解をしましょう。



☆そもそも「評定」って何??

「評定」とは、各科目の成績を5段階で表した数値のことです。皆さんは、学年末の通知表でその各値を知ることができます。この値は、定期テストや平常点を含んだ成績をもとに算出されています。

★評定平均値の求め方は??

評定平均値の算出は、いたって簡単です。高校で履修した全科目の評定を合計し、その科目数で割るだけです(単位数で割らないように注意してください)。その値を四捨五入して小数第1位まで算出するため、評定平均値は「4.5」や「3.2」と記されます。ここで最も注意しなければならないのは、評定平均値とは「高校3年間で履修した全科目の評定の平均値」ということです。つまり高3だけではなく、高1・2で履修した全科目の評定も計算に入れるということです。高1で履修する科目が一番多いので、注意が必要ですね。では、次の表を用いて、シュミレーションしてみましょう。

高1では、ある生徒が次のような成績だったとします。なお、科目名は略称で表記しています。

科目名	現国	言語文化	地理総合	歴史総合	公共	数学I	数学A	物理基礎	化学基礎	生物基礎	体育	保健	英コミI	論・表I
評定	3	3	3	3	3	4	4	4	4	3	4	4	5	3

各科目の評定を合計すると「50」となり、これを科目数の「14」で割ります。 $50 \div 14 = 3.57\dots$ となるので、高1での評定平均値は「3.6」と算出されます。

高2では理系進学に在籍し、理科は物理、芸術は書道Iを選択して、次のような成績だったとします。

科目名	論理国語	古典探究	数学II	数学B	物理	体育	保健	書道I	英コミII	論・表II	家庭基礎	情報I
評定	4	4	5	5	5	5	4	5	5	4	4	5

各科目の評定を合計すると「55」となり、これを科目数の「12」で割ります。 $55 \div 12 = 4.58\dots$ となるので、高2での評定平均値は「4.6」と算出されます。

この生徒は高1の「3.6」から高2で「4.6」まで頑張って上げてきました。では、この時点(高2修了時)での評定平均値はどうでしょうか。高1・2の評定の合計「 $50 + 55 = 105$ 」を、科目の合計である「 $14 + 12 = 26$ 」で割ります。そうすると、「 $105 \div 26 = 4.03\dots$ 」となり、高2修了時点ではこの生徒の評定平均値が「4.0」という結果になることが分かります。高2から非常に頑張っていると思いますが、思ったより評定平均値は上がっていませんね。つまり、高校1年次から不断の努力をしていかなければ、評定平均値を高く維持するのは難しいということです。高1・2の皆さんに残されたチャンスは残り僅かです。第5回の定期テストと3学期の平常点が非常に重要になってきます。「明日から勉強しよう…」「明日から課題に取り組もう…」なんて明日は永遠に来ません。そんな気持ちでは将来「日大の付属推薦や他大学の指定校推薦に出願することができたのに…」と必ず後悔してしまうことになります。「今から」を大切にしてください。特に、入試期間の家庭学習日などを有効に活用して勉強に励んでください。



大学入学共通テスト結果概況

1月18日(土)、19日(日)の両日、令和7年度大学入学共通テストが実施されました。全体の志願者数は495,171人(対前年度3,257人増)となりました。本校からも69人が志願し、20日(月)には、視聴覚室にて自己採点を実施しました。今年度は「河合塾」・「駿台」・「Benesse」・「東進ハイスクール」での実施となりました。生徒は22日(水)にはweb上で判定結果を知ることができました。

受験者数 451,465人

教科名	科目名	出題範囲	受験者数	平均点	最高点	最低点
国語 (200点)	国語		426,974	126.82 (63.41)	200 (100)	0 (0)
	地理総合、地理探究		122,394	57.55	100	0
地理歴史 (100点)	歴史総合、日本史探究		112,372	57.06	100	0
	歴史総合、世界史探究		68,215	60.20	100	0
	地理総合/歴史総合/公共		7,638	48.93	94	0
	※右記出題範囲から2つを選択解答(各50点)	地理総合	5,810	21.70 (43.40)	47 (94)	0 (0)
	歴史総合	3,952	24.61 (49.22)	50 (100)	0 (0)	
	公共	5,360	25.14 (50.28)	50 (100)	0 (0)	
公民 (100点)	公共、倫理		28,425	59.81	97	0
	公共、政治・経済		124,263	62.74	100	0
	地理総合/歴史総合/公共		7,638	48.93	94	0
	※右記出題範囲から2つを選択解答(各50点)	地理総合	5,810	21.70 (43.40)	47 (94)	0 (0)
数学 (100点)	数学Ⅰ		2,953	28.04	83	0
	数学Ⅱ		276,992	51.76	100	0
理科 (100点)	物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎		129,545	60.10	100	0
	※右記出題範囲から2つを選択解答(各50点)	物理基礎	17,746	24.80 (49.60)	50 (100)	0 (0)
	化学基礎	86,709	27.08 (54.16)	50 (100)	0 (0)	
	生物基礎	109,547	31.47 (62.94)	50 (100)	0 (0)	
	地学基礎	44,932	34.52 (69.04)	50 (100)	0 (0)	
	物理	140,324	59.09	100	0	
	化学	177,485	45.46	100	0	
	生物	55,790	52.30	100	0	
	地学	2,303	41.69	100	0	
	外国語 (100点)	英語(リーディング)		439,825	57.87	100
英語(リスニング)			439,214	61.44	100	0
外国語 (200点)	ドイツ語		95	126.72 (63.36)	200 (100)	41 (20)
	フランス語		115	131.18 (65.59)	200 (100)	17 (8)
	中国語		861	165.44 (82.72)	200 (100)	0 (0)
	韓国語		227	146.11 (73.05)	200 (100)	24 (12)
情報 (100点)	情報Ⅰ		265,785	69.46	100	0

(注) 平均点、最高点、最低点欄の()内の数値は、100点満点に換算したものです。

高2 保護者対象進路講演会

2月14日(金)、高2の保護者の方々に向けた進路講演会を実施します。期間を限定したオンデマンドによる動画公開を予定しています。本校進路指導部より、日大の付属推薦や他大学の受験における費用について、文系・理系や学部による違い、そして、一般選抜での入試方式による違いや奨学金などの補助についてもお話させていただく予定です。以下抜粋ではありますが、日大各学部の基本的な検定料と入学手続き時にかかる最小の費用です。参考にしてください。

【検定料】

医 60,000円・歯 50,000円・松歯 40,000円・その他の学部 35,000円

【入学手続き時最小納入金】

法学部	760,000円	理工学部(教以外)	995,000円
文理学部(心理)	820,000円	生産工学部	960,000円
経済学部	750,000円	工学部	960,000円
商学部	750,000円	医学部	4,350,000円
芸術学部(美術)	1,070,000円	歯・松戸歯学部	3,750,000円
国際関係学部	805,000円	生物資源(動物)	960,000円
危機管理学部	790,000円	薬学部	1,425,000円
スポーツ科学部	860,000円	短大(建築・生活)	880,000円

推薦・一般に関わらず合格が発表された後は、生徒のみならず保護者の方々も安心して一息ついてしまうこともあると思います。しかし、入学時納入金の支払いが完了しないと入学はできません。これらの費用が必要となるタイミングは、推薦進学の場合は高3の2学期(12月頃)、一般選抜で進学する場合は2月～3月となります。支払えない場合は入学辞退の扱いになってしまいます。これらの金額や日程は各大学・各学部ごとに異なっていますので、各大学のHPや資料などで事前によく確認しておきましょう。

総合的な探究の時間と進路 前編

先日実施した高2の小論文テストは志望理由書でした。志望理由書は「現代社会には○○という課題があり、自分はそれについて△△で貢献したい。そのために◇◇を学びたいので、この大学を志望する」という内容で書くことが指導がありました。高2の皆さんはお気づきでしょうか。これは、総合的な探究の時間と関連しています。

総合的な探究の時間では、①自ら課題を見つけ、②情報収集し、③集めた情報を整理・分析して解決を目指し、④それらをまとめて表現する、という活動を行います。これらの活動を通して、「社会課題を知り、その解決策を自分で考える」ことが、探究の時間の一つの大きな意義です。このように、社会課題を知り主体的に考えることは、自分の志望理由の一つの材料になりますね。

実際の入試でも、探究の時間での活動が役立ちます。学習院大学の総合型選抜に「国際社会の課題について日本語で説明を求め、知識や関心を確認します」というものがあります。探究で「国際社会の課題」について探究した生徒であれば、さまざまな問題の本質や解決策などをより具体的に論じることができます。また面接や出願書類で志望理由を述べるときに、志望理由に具体性や説得力をもたせることができます。例えば「材料化学を学びたい」と語った受験生が、海洋プラスチックに関する浅い知識を述べるのか、探究で「プラスチック問題」をテーマにし、実際にペットボトルキャップを加熱して熱変性させてみた経験を語るのか、熱意の伝わり方が大きく違うことはわかってと思います。

志望理由書や小論文、面接試験において、社会課題の本質的な理解や、具体的な行動歴を語れることは、良い意味で「目立つ」受験生になることができます。

どのような大学のアドミッションポリシーを見ても「社会貢献」に関わる言葉が出てきます。探究の時間を通じて社会課題に真摯に向き合い、その解決に向けて主体的に考える。その経験が、大学で学ぶ学問分野を活かし、自分がどのように社会に貢献できるか考え、発信できることにつながります。自分の将来の進路実現に向けて、総合的な探究の時間にも主体的に取り組みましょう。

後編では、実際に探究が進路につながった例を紹介いたします。

2月の進路行事

2月14日(金) 小論文テスト② (高1・2)
2月14日(金) 高2保護者対象進路講演会
(オンデマンド配信)

2月14日(金)の小論文テスト②は、高1が講演会(教室で視聴)＋小論文のリライト、高2が振り返りの時間に続けて志望理由書のリライトになります。今回は、前回の内容を踏まえての実施ですので、添削された答案を見て、納得した文章が書けるようにしてください。高2の志望理由書は、総合的な探究の時間で行っている個人の課題とマッチしていると書きやすくなります。このことも意識しながら進めるようにしましょう。

1月18日、19日に実施された大学入学共通テストは、7年振りに志願者数の増加となりました。受験人口そのものが減少している中増加した理由は、共通テストを利用する大学が増えたからです。早稲田大学の複数の学部でも共通テスト受験を必須とするなど、同じ傾向が今後も続くことが予想されます。

高3の受験生は、これから最後のヤマを迎えます。大学入学共通テストの結果で勝負できる受験生、一般選抜で勝負する受験生など個人で異なりますが、これまで長期間に亘って努力を続けてきた成果を出してください。ここ数年の傾向としては、「最後まで戦った人が最後に勝っている」ということです。年内入試にシフトしているということは、一般選抜までにライバルが減っているということです。自分の力を信じて、最後の最後まで全力を尽くしてください！

次回3月号は、2月末に発行予定です